KSRS NEWS Letter

Vol.3
2022.05

● KSRS臨床研究を開始しています。

KSRSでは、大学病院の垣根を越えた、**神奈川県全体の施設・医師が集う組織であるメリット**を最大限生かし、以下の臨床研究を実施しています。

研究支援事業

1.論文掲載

・腰部脊柱管狭窄症における新たな術式（Journal of Neurosurgery：横浜東部病院　福田健太郎　医師）

→短い固定範囲の前後方向複合手術（APCS）の臨床成績とX線写真の結果を報告。APCSが神経の除圧、前方支持の再建、局所アライメントの修正を実現することが示されており、今後APCS法が低侵襲術式の1つとして広まっていくことが期待されます。

・Somnolence and dizziness during mirogabalin treatment in patients with neuropathic pain related to lumbar disease who switched from pregabalin（Global Spine Journal：聖マリアンナ医大　赤澤努　医師）

→神経障害性疼痛の治療は、患者の身体的・精神的な生活の質を向上させる可能性がある。その治療の多くにおいて使用されているプレガバリンの治療で、傾眠やめまいをする患者は、ミロガバリンに切り替えることで治療を安全に継続できる可能性を示しました。

2. 講演会の開催

昨年度は企業様と協賛にて講演会やセミナーを開催いたしました。

【若手医師を対象としたハンズオンセミナー】 メドトロニックソファモアダネック株式会社様

（秦野赤十字病院　松山大輔 医師）

【臨床医としての統計学のすゝめ：神経障害性疼痛治療を含めて】 第一三共株式会社様

（座長：　北里大学　井上玄　医師，Closing remarks：　東海大学　酒井大輔　医師）



若手医師に対する
術者のトレーニングの場とした
貴重なセミナーに
(ハンズオンセミナー)

● 令和4年度の活動予定

1) KSRS臨床研究の継続

現在進行中の研究課題について、さらなる新規データを追加、解析を進めるとともに、新規の研究課題に取り組んでまいりたいと思います。

2) HPやSNSを通した情報発信

会員の先生方の論文投稿や学会発表について、さらにインタビュー記事なども掲載し、広く多くの方に向けて発信します。 ニュースレターの発行も頻度を上げていきたいと思います。

3) 勉強会や講演会の共催、後援

COVID-19感染症の影響で対面での実施は未だ難しい状況ですが、Web会議システムを使用して、オンラインでの勉強会や講演会を、共済・後援いたします。

KSRSは皆様のおかげで、活動を継続することが出来ております。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

寄付をいただきました企業様（50音順）

科研製薬株式会社 様，株式会社クレオメディカル 様，京セラ株式会社 様，サンメディックス株式会社 様，
ジョンソンエンドジョンソン株式会社 様，日本ストライカー株式会社 様，
望星サイエンス株式会社 様，メドトロニックソファモアダネック株式会社 様

● 令和3年度事業報告

内閣府NPOホームページにて、
法人の情報と事業報告書類一式の内容をご覧いただくことが出来ます。
URL：https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/014004081

公式HP ： https://kanagawa-sekitsui.jp/

Twitter ： @kanagawa_spine

Facebook ： @kanagawaspine